

# ふじみ野市防犯白書（防犯推進計画）

ふじみ野市防犯推進条例第4条に定める計画として、本防犯白書を策定します。

## I 犯罪動向と自主防犯活動

### 1 全国及び県内の犯罪動向

全国の令和2年の刑法犯認知件数は、61万4,231件で、前年を13万4,328件下回り、戦後最少を更新しました。

罪種別では、窃盗事件の発生が大きく減少していますが、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害は高い水準で発生しています。

埼玉県でも平成16年の18万1,350件をピークに年々減少し、令和2年は、4万4,485件（前年比-1万1,012件）で数字の上では治安の改善が見られます。

平成17年以降15年連続で減少していますが、罪種によっては、増加傾向にあることや、警察官1人当たりの業務負担が全国でワースト1位であるなど、厳しい治安情勢にあります。

### 2 ふじみ野市の犯罪動向

本市の刑法犯認知件数は、平成17年の2,451件がピークで、令和2年には651件と大きく下回り、前年と比較しても93件と大きく減少しています。

また、犯罪率（人口1,000人あたりの刑法犯認知数）についても5.8件で県下平均の6.1件を下回り、72市区町村別の順位ではワースト29位となっています。

しかしながら、本市では、オートバイ盗や部品ねらいなど一部の犯罪が増加しており、自転車盗については160件（前年比-55件）と減少したものの未だ高水準となっています。

ふじみ野市の年別罪種別犯罪認知件数（平成17年ピーク時との比較）

罪種	平成17年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	17年/2年比
全刑法犯	2,451件	1,213件	1,121件	930件	908件	935件	744件	651件	▲1,800件
街頭犯罪	1,177件	632件	583件	408件	414件	356件	290件	222件	▲955件
路上強盗	4件	1件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	▲4件
ひったくり	54件	14件	5件	0件	5件	4件	8件	1件	▲53件
自動車盗	80件	2件	4件	4件	3件	4件	5件	4件	▲76件
車上ねらい	271件	75件	55件	52件	44件	40件	31件	28件	▲243件
オートバイ盗	89件	53件	58件	18件	19件	10件	11件	16件	▲73件
自転車盗	642件	460件	430件	312件	302件	277件	215件	160件	▲482件
自動販売機ねらい	37件	4件	8件	6件	8件	3件	12件	2件	▲35件
部品ねらい		23件	23件	16件	33件	18件	7件	11件	
侵入窃盗	184件	34件	47件	23件	28件	47件	33件	14件	▲170件

※ 街頭犯罪とは、路上強盗、ひったくり、自動車盗、車上ねらい、オートバイ盗、自転車盗、自動販売機ねらい、部品ねらいをいう。（部品ねらいは、平成19年から街頭犯罪に加わる）

## 令和 2 年 市区町村別刑法犯認知件数・犯罪率(埼玉県)

順位	市区町名	犯罪率	刑法犯認知件数	推計人口
1	さいたま市大宮区	13.0件	1,524件	117,468人
2	蕨市	9.2件	692件	74,996人
3	羽生市	8.0件	430件	53,728人
4	上里町	7.6件	229件	30,053人
5	三郷市	7.6件	1,078件	141,784人
6	草加市	7.5件	1,872件	251,184人
7	越谷市	7.3件	2,522件	346,108人
8	春日部市	7.1件	1,640件	229,593人
9	八潮市	7.0件	648件	93,101人
10	川口市	6.9件	4,083件	594,552人
11	戸田市	6.8件	967件	142,068人
12	入間市	6.7件	976件	146,375人
13	吉川市	6.7件	478件	71,869人
14	滑川町	6.5件	128件	19,623人
15	さいたま市岩槻区	6.5件	725件	111,326人
16	幸手市	6.5件	326件	50,484人
17	新座市	6.3件	1,042件	164,467人
18	さいたま市桜区	6.3件	618件	98,286人
19	さいたま市中央区	6.2件	629件	102,023人
20	本庄市	6.2件	474件	76,922人
21	熊谷市	6.1件	1,194件	194,246人
〜〜〜〜	〜〜〜〜	〜〜〜〜	〜〜〜〜	〜〜〜〜
<b>29</b>	<b>ふじみ野市</b>	<b>5.8件</b>	<b>651件</b>	<b>112,763人</b>
—	県下平均	6.1件	—	—

※人口は、4月1日の推計人口

※犯罪率：人口 1,000 人あたりの刑法犯認知件数

## 令和 2 年 南西部地区(市村別)認知件数・犯罪率

順位	市町村	犯罪率	刑法犯認知件数	推計人口
1	新座市	6.3 件	1,042 件	164,467 人
2	富士見市	5.8 件	641 件	110,234 人
3	<b>ふじみ野市</b>	<b>5.8 件</b>	<b>651 件</b>	<b>112,763 人</b>
4	和光市	4.5 件	376 件	84,023 人
5	朝霞市	4.3 件	612 件	142,864 人
6	三芳町	4.1 件	157 件	38,470 人
7	志木市	3.9 件	292 件	75,214 人
南西部平均		5.0 件		
県下平均		6.1 件		

### 3 ふじみ野市の罪種別の犯罪動向

#### (1) 自転車盗発生状況

全刑法犯認知件数の約 3 分の 1 を占める自転車盗被害は、その地域での犯罪バロメータといわれています。

そのため、自転車盗被害の防止対策をすることが全体の治安向上に繋がっていきます。埼玉県内の全刑法犯認知件数が減少しているのは、この自転車盗被害の減少が大きな要因の一つと言えます。

下表は、県内の自転車盗の被害件数が多い市町村をまとめたものです。

ふじみ野市では、自転車盗被害防止を呼び掛ける活動を続け、平成 17 年に 642 件の被害がありました。令和 2 年には 160 件まで減少しました。

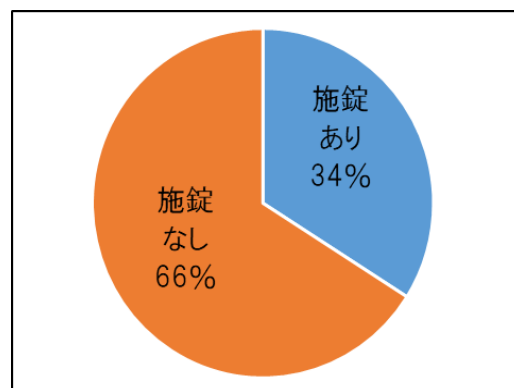
しかし、市内の全刑法犯中、自転車盗被害の占める割合は約 3 割と罪種別では、最も高い水準であり、自転車盗被害を減少させることが課題となります。

#### 自転車盗の件数が多い市町村(埼玉県)

順位	市町村名	自転車盗難件数	全刑法犯	犯罪率
1	川口市	1,149 件	4,083 件	6.9 件
2	越谷市	697 件	2,522 件	7.3 件
3	草加市	532 件	1,872 件	7.5 件
4	川越市	507 件	1,996 件	5.6 件
5	所沢市	454 件	1,932 件	5.7 件
6	上尾市	422 件	1,318 件	5.8 件
〜〜	〜〜〜〜	〜〜〜〜	〜〜〜〜	〜〜〜〜
24	<b>ふじみ野市</b>	<b>160 件</b>	<b>651 件</b>	<b>5.8 件</b>

## 自転車盗の施錠の有無(ふじみ野市)

また、被害の態様では、160 件中 106 件（全体の約 66%）が無施錠で被害に遭っていることから鍵かけによる被害防止の周知徹底を図っていきます。



## 自転車盗の件数が多い地域(ふじみ野市)

順位	町 丁 名	自転車盗件数	施 錠 あり	施 錠 な し
1	上福岡一丁目	25件	13件	12件
2	ふじみ野一丁目	22件	3件	19件
3	霞ヶ丘一丁目	14件	9件	5件
4	うれし野二丁目	12件	4件	8件
5	大井	8件	4件	4件
6	苗間一丁目	7件	5件	2件
—	市内合計	215件	84件	131件

※表は、令和元年中の確定値

### (2) 振り込め詐欺被害発生状況

全国のオレオレ詐欺や還付金詐欺などの振り込め詐欺の発生状況は、

平成 29 年 1 万 8,212 件(被害総額約 394 億 7,000 万円)

平成 30 年 1 万 7,844 件(被害総額約 382 億 9,000 万円)

令和元年 1 万 6,851 件(被害総額約 315 億 8,000 万円)

令和 2 年 1 万 3,526 件(被害総額約 277 億 8,000 万円) ※暫定値

と令和 2 年は、前年に引き続き被害件数、被害総額ともに減少しておりますが、依然として高水準の被害が発生していることから、深刻な情勢となっております。

被害は大都市圏に集中しており、東京、埼玉、神奈川、千葉、大阪、兵庫、愛知の 7 都府県で、被害件数全体の約 7 割を占めている状況です。

令和 2 年の埼玉県内の振り込め詐欺被害は、被害件数 1,026 件(前年比-433 件)、被害総額約 22 億 8,258 万円(キャッシュカードによって不正に引き出された額を含む)の被害が発生しました。

手口としては、息子や親族などを名乗り、「カバンを置き忘れた。小切手が入っていた。お金が必要だ。」などと言って現金をだまし取る手口が被害全体のうち 397 件あり、前年比+131 件と大幅に増加しています。

また、警察官や銀行協会職員などを名乗り、「あなたのキャッシュカードが悪用されている。キャッシュカードを交換する必要がある。」などと言ってキャッシュカードをだまし取り、あるいは

すり替えて盗み取り、あらかじめ聞き出しておいた暗証番号により預貯金を払い出す手口や、自治体職員を名乗り、還付金があると言葉巧みに無人ATMに誘導して、現金を振り込ませる手口も高水準で発生している他、「民事訴訟管理センター」などを名乗ってはがきや封書を郵送し、訴訟回避名目で現金をだまし取る架空請求詐欺や新型コロナウイルス感染症に関連して「高齢者対象でPCR検査とワクチン接種ができます。予約金が必要です。」などと言って現金や個人情報をだまし取ろうとする不審電話が多数確認されるなど、手口が多様化、複雑化しています。

## 令和2年 振り込め詐欺発生件数(埼玉県)

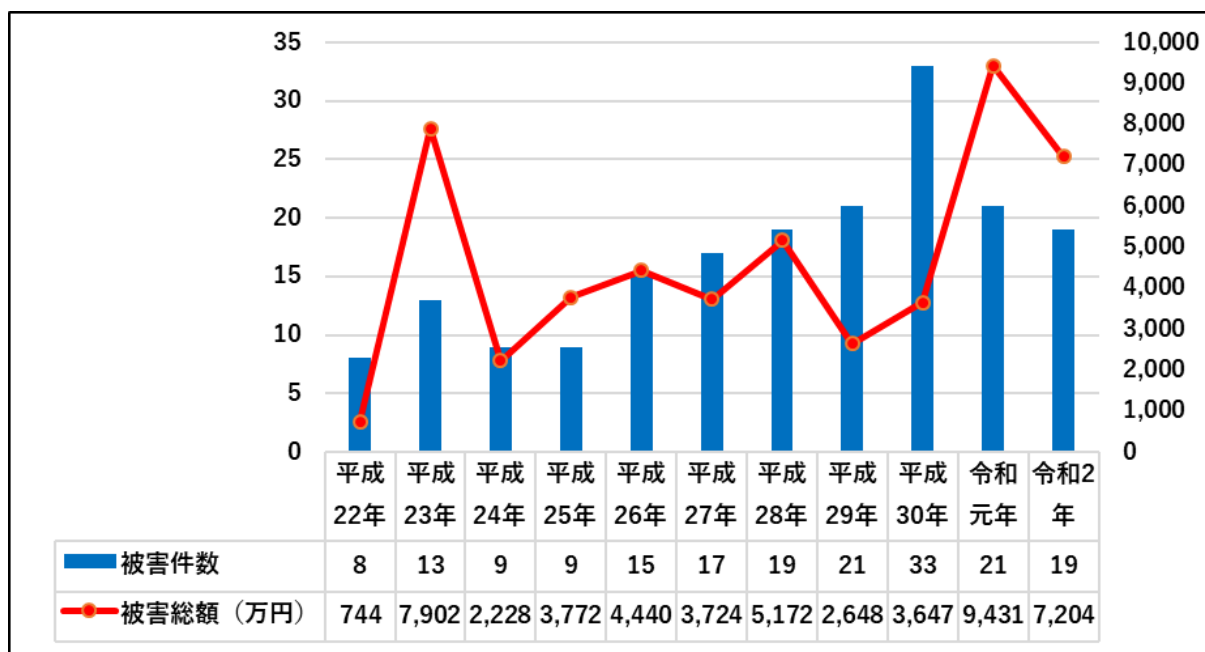
順位	市区町村	被害件数	被害総額	順位	市区町村	被害件数	被害総額
1	川口市	67件	1億1,771万円	38	白岡市	12件	1,981万円
2	越谷市	54件	1億2,758万円	39	桶川市	12件	1,820万円
3	川越市	43件	1億2,263万円	40	大宮区	12件	1,460万円
4	熊谷市	35件	7,501万円	41	加須市	12件	2,427万円
5	狭山市	33件	8,185万円	42	本庄市	11件	3,058万円
6	所沢市	33件	6,981万円	43	日高市	11件	2,954万円
7	上尾市	31件	6,230万円	44	緑区	11件	1億1,027万円
8	春日部市	31件	5,243万円	45	和光市	10件	4,688万円
9	久喜市	30件	4,338万円	46	宮代町	9件	2,088万円
10	草加市	30件	3,735万円	47	寄居町	7件	2,882万円
11	戸田市	27件	1億1,428万円	48	幸手市	7件	1,899万円
12	入間市	27件	3,772万円	49	鶴ヶ島市	5件	5,545万円
13	新座市	25件	2,699万円	50	鳩山町	5件	510万円
14	見沼区	21件	6,650万円	51	杉戸町	5件	440万円
15	南区	21件	5,668万円	52	羽生市	4件	417万円
16	鴻巣市	21件	3,812万円	53	秩父市	4件	3,700万円
17	北本市	20件	5,823万円	54	三芳町	4件	2,049万円
18	ふじみ野市	19件	7,204万円	55	松伏町	3件	100万円
19	桜区	19件	3,052万円	56	滑川町	2件	650万円
20	浦和区	19件	2,376万円	57	伊奈町	2件	559万円
21	坂戸市	18件	2,676万円	58	上里町	2件	349万円
22	蕨市	18件	1,742万円	59	皆野町	2件	278万円
23	岩槻区	17件	4,445万円	60	毛呂山町	2件	52万円
24	中央区	16件	3,205万円	61	長瀬町	2件	0万円
25	飯能市	16件	3,776万円	62	嵐山町	1件	300万円
26	富士見市	16件	2,474万円	63	美里町	1件	151万円
27	蓮田市	16件	1,867万円	64	小川町	1件	109万円
28	朝霞市	15件	4,091万円	65	神川町	1件	81万円
29	深谷市	14件	1,715万円	66	吉見町	1件	70万円
30	吉川市	14件	1,395万円	67	ときがわ町	1件	50万円
31	東松山市	14件	1,798万円	68	川島町	1件	0万円
32	八潮市	14件	920万円	69	越生町	1件	0万円
33	北区	14件	1,567万円	70	横瀬町	0件	0円
34	西区	13件	2,512万円	71	小鹿野町	0件	0円
35	行田市	13件	7,849万円	72	東秩父村	0件	0円
36	三郷市	13件	1,582万円		県外	2件	394万円
37	志木市	13件	1,036万円		合計	1,026件	22億8,258万円

※ 埼玉県警察特殊詐欺総合対策本部調べ（暫定値）

※ 被害総額は、キャッシュカード引出額を含む

令和2年のふじみ野市内での振り込め詐欺発生状況は、被害件数19件(前年比-2件、キャッシュカードをだまし取る手口、すり替えて窃取する手口を含む)、被害総額約7,204万円(前年比-約2,227万円、キャッシュカードによって不正に引き出された額を含む)であり、被害件数及び被害金額は前年を下回ったものの、高止まりのため、依然として予断を許さない状況です。

### 振り込め詐欺発生件数(ふじみ野市)



被害現状については、息子や孫などの親族を名乗ったオレオレ詐欺による被害が19件中13件と最も多く、また、警察官や金融機関職員を名乗り、キャッシュカードをだまし取る預貯金詐欺が5件発生しており、従来の現金を振り込ませるだけでなく、現金やキャッシュカードを手交する手口での被害が多発しています。

一方で、犯人からの予兆電話(警察へ通報のあった件数)は149件(前年比-275件)と大幅に減少しており、犯行手口の複雑・巧妙化が被害拡大に影響しているものと考えられます。

### 令和2年 振り込め詐欺手口別件数(ふじみ野市)

手口	件数	被害金額
オレオレ詐欺	13件	約6,904万円
預貯金詐欺	5件	約300万円
架空請求詐欺	0件	0万円
還付金詐欺	0件	0万円
融資保証詐欺	0件	0万円
カード詐取	1件	0万円
合計	19件	約7,204万円

※表は、令和2年中の暫定値

このように、犯人は、言葉巧みに被害者を焦らせ、暗証番号を聞き出したり、キャッシュカードの一部にはさみで切れ込みを入れたり、被害者にキャッシュカードを封筒に入れさせ、被害者の注意をそらしてあらかじめ用意したカード大の紙を入れた封筒とすり替えるなど巧妙な手口で現金やキャッシュカードなどを騙し取ろうとしており、被害は深刻化しています。

被害防止のために、警察と連携して情報共有を図り、手口や被害防止策の周知活動を実施するほか、振り込め詐欺対策電話機等の普及促進による被害防止活動に取り組んでいきます。

また、迅速な情報発信に加えて、行政と警察だけでなく、市民力を結集した「地域の力で振り込め詐欺をなくす」ための施策を展開することが重要であると考えます。

### (3) 子どもに対する声かけ事案

声かけ事案とは、18歳以下の者に対して、犯罪行為には至らないが、「声をかける」「手を引く」「肩に手をかける」「後をつける」等の行為で、略取・誘拐や性的犯罪等の重大な犯罪の前兆として捉えられる事案をいいます。

#### 【発生状況】

令和2年の埼玉県内での声かけ事案認知件数は2,752件(前年比-560件)と前年から大幅に減少しました。

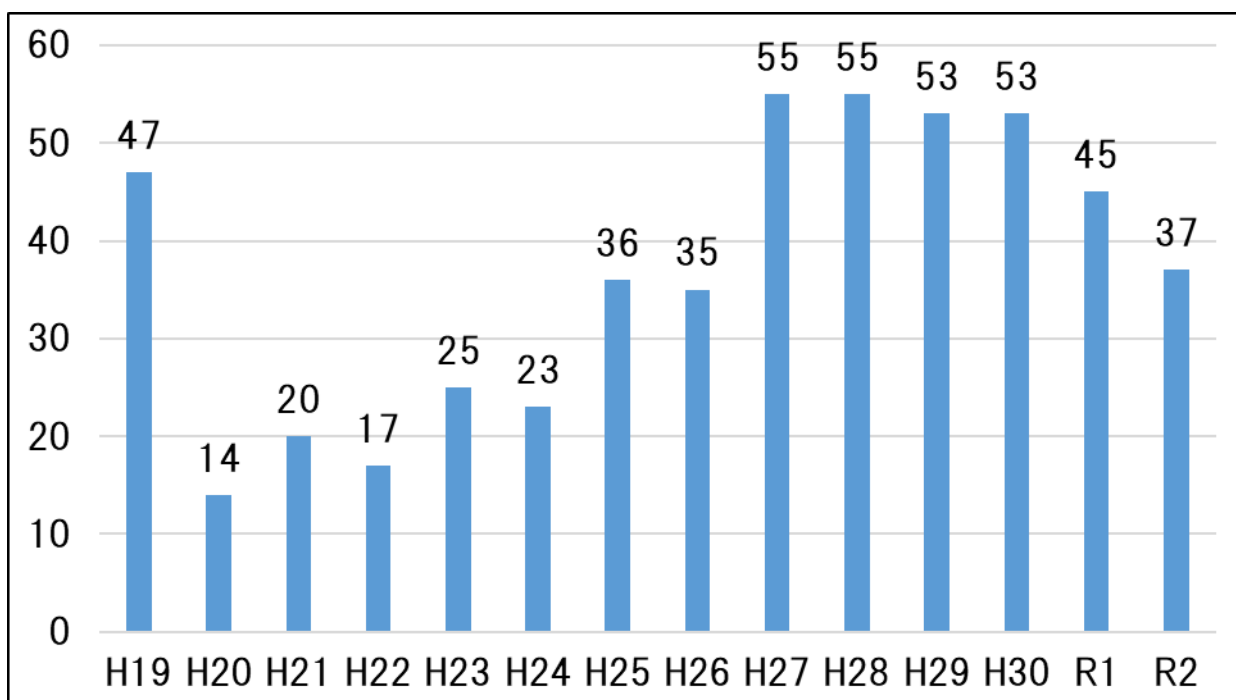
ふじみ野市では、令和2年に37件(前年比-8件)の声かけ事案を認知しており、県内平均(38.2件)と比較して同水準にあります。平成28年の55件をピークに年々減少傾向を維持しています。

また、月別の発生状況では、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前の1月と新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の解除後、外出する機会が増えた10月に発生が集中している傾向となっています。

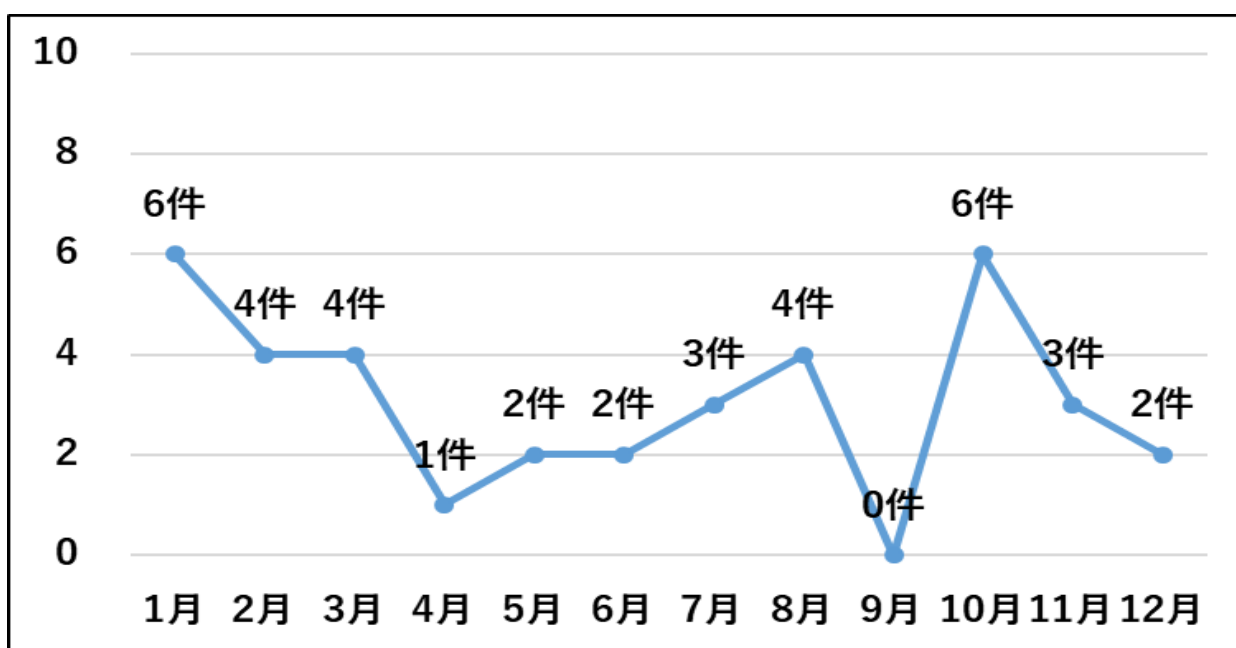
## 令和2年 声かけ事案認知件数(埼玉県) 確定値



### 声かけ事案認知件数(ふじみ野市)



### 令和2年 声かけ事案月別認知状況(ふじみ野市)





### 【事案形態】

令和2年中の埼玉県内での事案傾向として、「お菓子をあげる。」「○○はどこにある。」等の甘言・詐言により、声を直接かける行為が全体の約35.2%でした。

また、子供の後を追従する行為が全体の約20.2%でした。

ふじみ野市では、子供に対して声を直接かける行為の他、露出やスマートフォンを向けられて追従される事案も発生しています。

### 【発生状況】

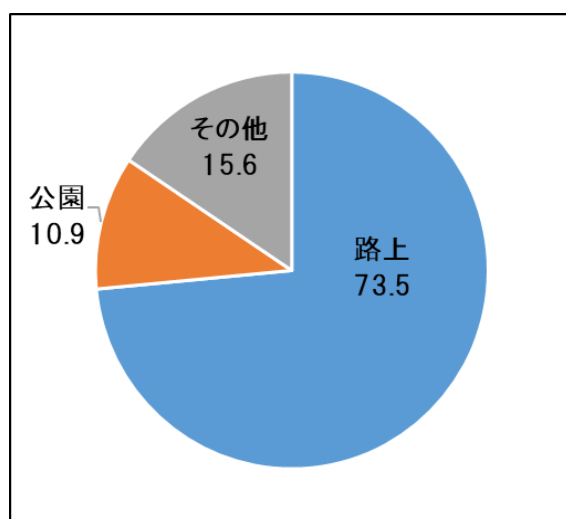
埼玉県内では、声かけ事案の約5割が15～17時の下校・帰宅時間帯に集中しており、次いで7～8時の通学時間や18時以降の塾からの帰宅時間などに発生が確認されています。

発生場所では、路上での発生が73.5%、公園内での発生が10.9%となっています。

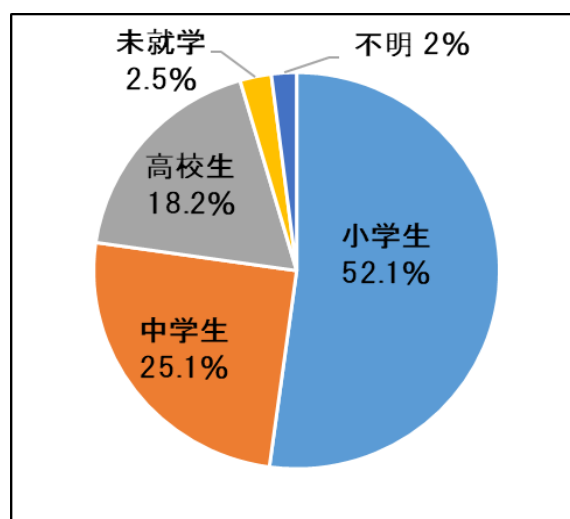
また、行為を受けた子供については、小学生が52.1%と最も多くなっています。

ふじみ野市でも登校・下校時間に声かけ事案が多く発生している状況が確認されています。

発生場所(埼玉県内)



被行為者の学職(埼玉県内)



### 【不審者への対応】

被害児童が不審者に出合った際の対応として最も多いのが「走って逃げる」で、次いで「110番の家などに逃げ込む」ことにより被害を回避しています。

また、「110番の家などに逃げ込む」「無視する」「きっぱり断る」「助けを求める」などの防犯行動が顕著に増加し、「防犯ブザーを鳴らす」などの防犯行動も、微増しています。

不審者が強行手段に出た際には、児童の力では防ぐことができないことから、児童に対して周りの大人に助けを求めることができるよう繰り返し指導していくことが必要です。

具体的には、市内幼稚園における親子防犯教室での児童に対する対応方法の指導のほか、市内小学校での校区内防犯会議において、児童への指導方策や犯罪情報の提供、地域との情報交換等の情報共有を図ることで児童を助ける側である大人が効果的な見守り活動が実施できるよう取り組んでいます。

## 4 自主防犯活動の状況

### (1) 全国と県内の自主防犯活動団体数

全国における自主防犯活動を行う団体数は、令和2年末現在約46,000団体あります。

その内、青色回転灯装着車両による防犯パトロール団体は、全国で約9,800団体あり、青色パトカーの数は約44,000台が全国で活動しております。

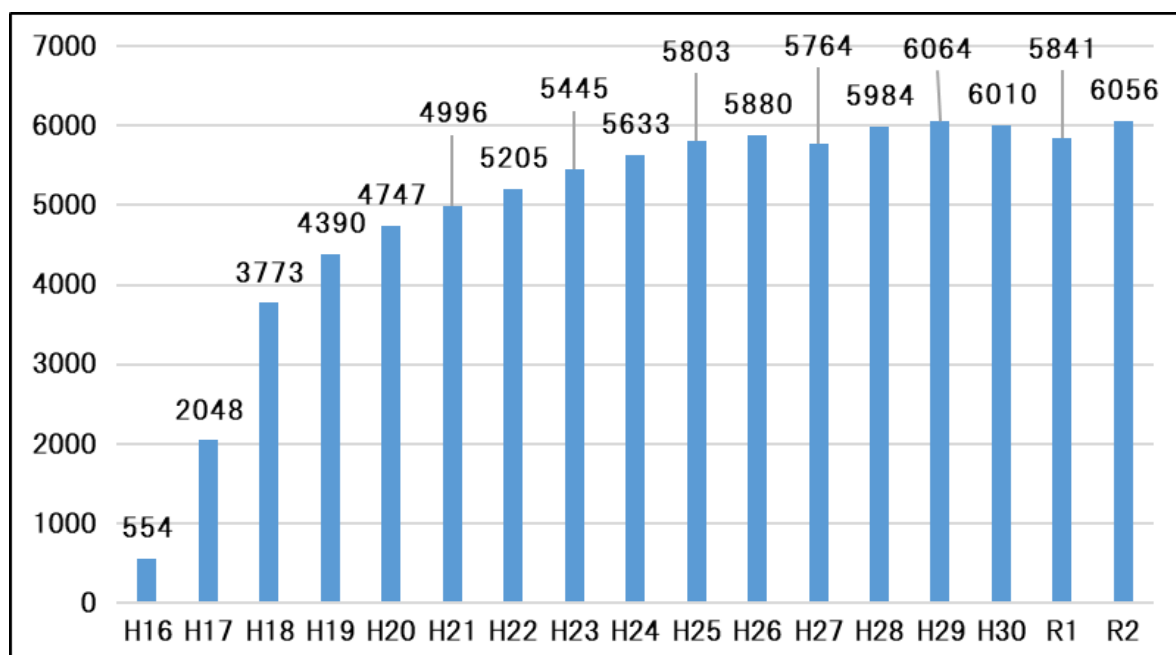
埼玉県内の自主防犯団体の件数は、令和2年末現在6,056団体あり、全国でも最も多い団体数となっています。

また、青色回転灯装備車両による防犯パトロール団体は、266団体で、756台の青色防犯パトカーが県内のパトロールを実施しており、埼玉県や埼玉県警察がその活動の支援をしています。

ふじみ野市内では、自主防犯活動団体の尽力により、犯罪件数は年々減少し、治安向上に努めていますが、一方で犯罪件数の減少が防犯意識を低下させ、少子高齢化や都市化の進展により地域への無関心、干渉を生み出し、自主防犯活動に参加する市民が固定化し、より活発な自主防犯活動が困難な状態となってきています。

市内人口は増加し、若い世代の流入も見込まれることから、市民一人ひとりの防犯意識を向上させ、治安の維持・向上を推進するためにも新たな自主防犯体制を作っていく必要があります。

### 埼玉県内の自主防犯団体数の推移状況



## (2) ふじみ野市の自主防犯団体

ふじみ野市内の自主防犯団体は、令和 2 年末現在 77 団体あり、各団体が防犯パトロールや防犯啓発活動など、地域の力で犯罪を抑止することに貢献を頂いております。

また、市内には、青色防犯パトロールカーによる防犯活動を行う団体「ふじみ野市青色防犯パトカー市民パトロール隊」、「ふくおか防犯パトロール」の 2 団体があり、定期的な運用を行っています。

両団体とも隊員を募集しており、今後、市内の防犯活動の中心になるように団体の拡大を図っていきます。



## (3) 自主防犯団体活動について

自主防犯団体の活動については、各団体が自主的に実施しており、

児童登下校時の見守り活動

夕方や夜間の防犯パトロール

防犯のぼりやポスターの掲出

防犯キャンペーンへの参加

防犯会議や防犯講習会の開催

犯罪情報の周知、広報

など、さまざまな活動を実施しています。

令和 2 年中は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部活動を自粛するなど困難な状況もありましたが、人数の縮小やマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保など感染防止対策を講じて、可能な限りの防犯活動を実施しました。

各団体が自分達にできる活動をしていただくことが、自分の住む町を自分で守る意識につながっていき、犯罪件数の減少は、こうした自主防犯団体の地道な活動の成果であることは間違いありません。



## Ⅱ ふじみ野市の令和 2 年度防犯事業の概要と今後の課題

### 1 防犯コミュニティ事業

		令和 2 年度の概要
防犯メール		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犯罪発生情報に合わせ、被害防止対策を合わせて送信。</li> <li>○ 振り込め詐欺情報・不審者情報・犯罪情報など年間 55 件の防犯メール配信。 令和 3 年 3 月末現在で登録者は 10,020 人(前年比+851 人)</li> </ul>
防犯リーダー・防犯ボランティア育成事業	青色防犯 パトロール 講習会	日 時： 11 月 13 日(金)第 1 回午前 9 時 30 分～午前 10 時 30 分 第 2 回午前 11 時 00 分～正午 会 場： ふじみ野市役所 本庁舎 5 階 A 大会議室等 講 師： 東入間警察署生活安全課警部補 参加者： 延べ 30 名(うち市職員 20 名) 内 容： 青パトでのパトロールに必要な知識・技術の教養を実施。
	わんわん パトロール 講習会	令和 2 年 7 月 10 日(土)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。
	ウォーキング パトロール 講習会	日 時： 10 月 10 日(土)午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分 会 場： ふじみ野市立上野台体育館 講 師： 高橋雍昌氏(NPO 法人埼玉県ウォーキング協会) 参加者： 25 名 内 容： ウォーキングの効用、パトロール時の注意点について教養を実施。
	地域防犯 リーダー 講習会	日 時： 10 月 26 日(土)午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分 会 場： ふじみ野市役所本庁舎 5 階 A 大会議室 講 師： 柿沼武雄氏 (埼玉県防犯・交通安全課 振り込め詐欺被害防止マイスター) 参加者： 13 名 内 容： 対策電話機等の実演を交えた振り込め詐欺被害防止の教養を実施。
校区内防犯 推進活動		市内小・中学校で開催される校区内防犯会議において、学校関係者、児童の見守り活動実施者に防犯情報を提供し、情報共有と連携強化を図るものですが、同会議が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から自粛されたため活動実績なし。
防犯推進会議への支援		各防犯団体への防犯のぼり旗やポスター、パトロール用品などの支給、発生する犯罪情報の提供などを実施しました。

#### ○ 今後の課題

市内の犯罪件数は減少傾向にありますが、大型商業施設建設や人口増加など都市化が進み、犯罪が増加する危険性が懸念されます。

市民一人ひとりの防犯意識を向上させ、若い世代などの幅広い世代が防犯活動へ参加することで地域の防犯力を拡大させることが必要となっています。

## 2 防犯啓発事業

	令和2年度の概要
防犯キャンペーン	上福岡駅周辺において街頭防犯キャンペーン実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止し、ふじみ野市役所本庁舎、大井総合支所、ふじみ野市社会福祉協議会の各窓口で被害の多い自転車盗や振り込め詐欺の被害防止に関するチラシや啓発品を配布しました。
親子防犯教室	市内幼稚園4園で、年長児(新一年生となる児童)とその保護者を対象に親子防犯教室の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。 ○新一年生となる年長児に対して、「守ろう約束」の下敷きと防犯めり絵を配布。
防犯講話 (出前講座)	市内の自治組織や地域団体などに対する出前講座は、地域における活動が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から自粛されたため開催実績なし。
青色防犯パトカー パトロール	74名の隊員による市内防犯パトロールを午前10時からと午後2時からに分けて実施しました。(年間185回実施、延べ走行距離3,978kmのパトロール)

### ○ 今後の課題

治安改善の一方で、地域の防犯意識が低下しないように、継続した防犯意識啓発が必要となります。

また、新しく転入してきた方を含めて、地域の皆さんに防犯体制について理解、協力していただく必要があります。

## 3 振り込め詐欺被害防止対策

市内でも被害が跡を絶たない振り込め詐欺被害の防止を図るため、市民に対する注意喚起や手口の周知のほか、振り込め詐欺対策機器等購入費の補助制度を実施するなど幅広い取り組みをしています。

	令和2年度の概要
警察、金融機関との 連携	12月15日(水)、イオンタウンふじみ野において、東入間警察署と合同による振り込め詐欺被害防止ミニキャンペーンを実施した他、金融機関との連携を図り、防犯のぼり旗の掲示などによる利用者への注意喚起を実施しました。
振り込め詐欺対策機器 購入費補助	対策電話機の普及促進により、被害防止を図るため、購入費補助を引き続き実施。(補助金交付件数124件) ○対象:市内在住の65歳以上の方、補助金額:購入金額の2分の1(上限5,000円)
振り込め詐欺対策機器 体験展示	10月12日(月)~16日(金)、ふじみ野市役所本庁舎1階ギャラリーにおいて、振り込め詐欺被害防止の注意喚起と対策機器の普及促進のため、振り込め詐欺被害発生状況や防犯対策等の資料と共に対策機器の体験展示会を実施しました。

## ○ 今後の課題

年々手口が巧妙かつ複雑化している中、警察や関係機関と連携した注意喚起の他、手口や予兆状況のタイムリーな情報発信を実施するとともに、対策機器のさらなる普及促進を図る必要があります。

## 4 東入間防犯・暴力排除推進協議会の取り組み

東入間警察署管内の防犯・暴力排除を推進するために、ふじみ野市は、東入間警察署・富士見市・三芳町とともに東入間防犯・暴力排除推進協議会を組織し、連携した活動に取り組んでいます。

### (1) 東入間地域防犯推進委員委嘱状交付

地域防犯推進委員とは、町会等の自治組織の長及び地域安全活動に意欲的に取り組む方で、自治組織の長等の推薦により地域から選ばれた防犯ボランティアリーダーの方をいいます。

2市1町と同委員に対して、東入間防犯・暴力排除推進協議会長と東入間警察署長連名による委嘱状を交付します。

### (2) 東入間防犯・暴力排除推進大会

令和2年度は、10月21日(水)に三芳町で開催されました。

令和3年度は、10月20日(水)にふじみ野市で開催を予定しており、2市1町の防犯・暴力排除への功労団体・個人への表彰とアトラクションとして防犯関係の講演などを予定しています。

### (3) 防犯・暴力排除年末街頭キャンペーン

12月に、上福岡駅などで夕方頃から東入間警察署員、2市1町防犯担当課職員、会員団体が参加して啓発品を配布する街頭キャンペーン活動を行います。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、街頭キャンペーンは中止し、ふじみ野市役所本庁舎、大井総合支所、ふじみ野市社会福祉協議会の他、会員団体の各窓口で防犯・暴力排除チラシや啓発品の配布を実施しました。

## ○ 今後の課題

東入間防犯・暴力排除推進協議会の加盟団体の主は自治組織になりますが、少子高齢化や都市化が進む中で、地域社会の一体感や連帯感が希薄となり、住民の地域活動離れなどが問題になっています。

地域の皆さんに、防犯・暴力排除の推進には市や警察だけでなく、住民や地元事業所・企業が一体となって取り組むことが不可欠であることを理解していただき、地域活動への参加を促すとともに、地元事業所・企業との連携を図り、活動の拡大を進めることが必要となります。

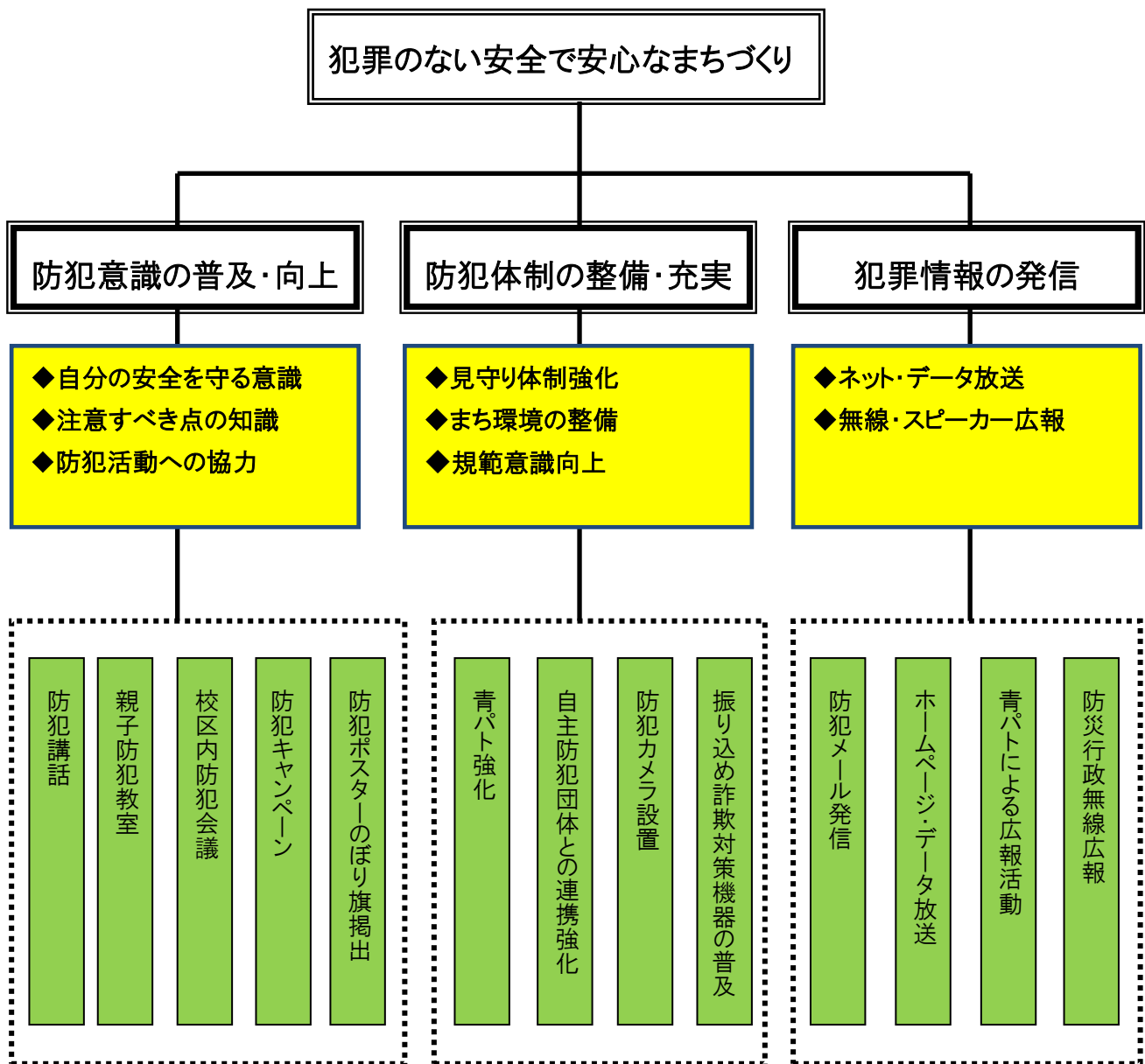
### Ⅲ ふじみ野市防犯対策計画(令和3年度)について

令和3年度の防犯対策は、

「犯罪のない安全で安心なまちづくり」

のために市民一人ひとりの防犯意識の向上を図ります。

また、地域ぐるみの防犯体制の整備・充実を図り、警察や関係団体との連携を強化し、迅速な情報共有及びタイムリーな情報発信により、「犯罪件数の減少」、「児童の安全確保」、「振り込め詐欺被害防止」を目指します。



# 1 市民の防犯意識啓発事業

市内では様々な犯罪が発生していますが、無施錠状態での自転車盗被害や車上ねらい被害のほか、荷物を自転車カゴに入れたまま、目を離して荷物が盗まれる被害など、注意をすれば防げたかもしれない被害もあります。

このような被害を1件でも減らすため、市民の一人ひとりが防犯意識を持ち、注意することで被害を未然に防ぐようにしていただきたいと考えています。

一度、被害に遭えば、嫌な思いや経済的な被害もすべて、自分自身が受けることになります。

「自分・家族の安全は自分たちで守る」

という気持ちを持っていただくために、防犯意識の啓発活動を行っていきます。

その対策として、以下の対策を実施していきますので、多くの市民の方に防犯意識・防犯知識を広めるため、御協力をお願いします。

	令和3年度計画
防犯講話	犯罪の発生状況や対策について、新しい情報を提供し、一人ひとりが被害に遭わないように注意し、地域に広めていただけるよう、地域向けの犯罪被害防止講話、高齢者向けの振り込め詐欺被害防止講話、児童向けの不審者への注意喚起を行います。 自治組織などだけでなく、市内事業者等への防犯講話も増やしていきます。
親子防犯教室	市内幼稚園で年長児(新一年生となる児童)とその保護者を対象に講習会を実施し、園児と保護者に対し、防犯意識を広めていきます。 園児に防犯意識を持たせ、危険を回避する行動を幼いうちから学んでいただきます。 また、保護者にも学んでいただき、園児の指導・見守りを実施していきます。
校区内防犯会議	学校区ごとに、児童への声かけ事例や地域に応じた被害防止対策を検討して、見守り活動を行う方などに児童の見守りをする上での注意点などを学んでいただきます。 また、見守り活動をする方から児童へ被害防止の指導を、日常生活の中で伝えていただきます。
防犯キャンペーン	警察や金融機関などの関係機関と協力し、駅や大型ショッピングモール等でのキャンペーンを実施して広く、防犯意識の啓発を行います。 特に現役世代で、地域との接点が少ない方にも、防犯活動を理解してもらうために駅頭でのキャンペーンを実施していきます。 また、新規開店した店舗などに対して、積極的に防犯キャンペーン実施の協力を依頼していきます。
防犯ポスターのぼり旗の掲出	市民が犯罪被害にあわないよう注意を促すとともに、犯罪企図者の犯行を思いとどまらせることを目的に、被害防止ポスターやのぼり旗を道路や公共施設、店舗などに数多く掲出していきます。 また、古くなったポスターや、破れたのぼり旗を放置することは、地域の防犯への関心の薄さを表し、犯罪増加の要因になるため、管理者へ早期交換を依頼していきます。
高齢者世帯への注意喚起	未だ歯止めがかからない振り込め詐欺に対し、高齢者の防犯意識の醸成と被害防止を図るため、日頃から高齢者世帯を家庭訪問している民生委員や地域包括支援センター職員と連携し、訪問による防犯指導と注意喚起シール配布を実施していきます。



## 2 防犯体制の充実事業

まちの構造やコミュニティと関係した犯罪を「機会犯罪」といいます。

「犯罪企図者」と「犯罪被害の対象(被害者・被害品)」と「犯罪を行いやすい環境」が揃うと犯罪が発生するというもので、3つの条件の1つでも欠ければ、犯罪は発生しないというものです。

「犯罪を行いやすい環境」を取り除くためには、以下の2つの取り組みが必要と考えます。

1つ目は、「防犯パトロール」などによる地域の見守り体制を強化することで、「犯罪を行いやすい環境」をなくし、「お互いが支えあう地域社会」という意識を地域で広め、地域全体で取り組んでいく必要があります。

2つ目は「割れ窓理論」などにもあるように、小さなほころびや秩序違反行為が野放しにされると軽犯罪が多発し、やがて凶悪な犯罪が発生することから、市民の注意力やモラルを維持するための環境整備により、「犯罪を行いやすい環境」をなくしていきます。

	令和3年度計画
青色防犯パトロールの強化	市民ボランティアであるふじみ野市青色防犯パトカー市民パトロール隊の隊員増員と装備の充実を図り、パトロール体制の充実・強化を図ります。また、青色防犯パトロール乗車講習会により、隊員一人ひとりの能力向上を図ります。
自主防犯団体の強化	防犯推進会議加盟団体の拡大を図り、各団体の防犯リーダーに対する講習も継続して実施することで自主防犯団体の活動強化を図ります。 ○講習会開催日：令和3年10月23日実施予定
関係機関防犯団体の連携強化	東入間警察署、ふじみ野市、富士見市、三芳町で構成される防犯団体である東入間防犯・暴力排除推進協議会への協力を引き続き行っていきます。 また、振り込め詐欺などの被害者は、金融機関や無人ATMなどに誘引される場合が多いため、警察や金融機関などとの連携強化を図っていきます。
防犯カメラ設置	現在、市内には防犯カメラを設置した公園が10か所あります。 今後、他の公園にも防犯カメラを増設することで犯罪抑止を図っていきます。
わんわんパトロール	パトロール用品を身に着けて愛犬と散歩することで、防犯パトロールと同じ効果が望めます。事件目撃時の通報をするなどわんわんパトロールによる「ながら防犯」を推進していきます。 ○講習会開催日：令和3年7月10日実施予定
ウォーキングパトロール	パトロール用品を身に着けてウォーキングすることで、防犯パトロールと同じ効果が望めます。事件目撃時の通報などウォーキングパトロール時の注意点を含め、安全な歩き方について専門家による講習会を実施し、「ながら防犯」を推進していきます。 ○講習会開催日：令和3年10月2日実施予定
振り込め詐欺被害防止対策	犯人から電話がかかってきたとき、呼出音前に自動応答して会話を録音する「振り込め詐欺対策電話機など」を活用することで被害を防ぐことができます。振り込め詐欺対策電話機の普及促進により、被害防止を図るため、購入費補助を引き続き実施します。 ○対象：市内在住の65歳以上の方、補助金額：購入金額の2分の1(上限5,000円)

### 3 犯罪情報発信対策事業

市民からの要望として、犯罪発生情報の提供という声は多く聞かれます。

特に重要・凶悪事案などが近所で発生した際には、いち早く情報を知り、防犯対策を行いたいです。

これまでも、可能な限りの情報を、様々な手段で広報してきましたが、今後もその対策を継続・拡大していきたいと考えています。

まずは、メールやテレビのデータ放送などで犯罪情報を発信しています。

インターネットの情報伝達は、短時間に多くの人に情報を伝達する上で、かなり有効な手段ではあります。

しかしながら、メールや、ネット環境のない人や、機器の操作が苦手な方など、全ての方に伝えるのは難しい状況です。

そのため、防災行政無線や青パトによる広報なども併せて行っていきます。

防災行政無線や青パト広報は、その場にいる多くの人に、情報を伝達できますが、室内や、場所によっては、聞こえにくく、聞き逃した際には内容を確認できない事もあります。

ふじみ野市では、メールや防災行政無線などを組み合わせ、情報発信を実施していますので、様々なツールで情報を確実に入手することを心掛け、家族や、周辺の方にも伝達するようにお願いします。

	令和3年度計画
メール、SNS 発信	FメールやSNS(ツイッター、フェイスブック)を活用し、犯罪情報提供の拡大、登録者を増加させ、Fメールの登録者数1万1千人を目指します。
テレビ データ放送	テレビ会社のデータ放送で、市町村ごとの各種情報を流していることから、犯罪情報を放送し、注意喚起を促します。 ※ データ更新の時間が決められているため、情報発信の時間が遅れることがあります。
青色防犯パト ロールカーによる 広報	振り込め詐欺等の地域性のある犯罪については、青色防犯パトロールカーで特定の地域を走りながら広報することが有効となります。 東入間警察署と情報共有を図り、タイムリーな状況把握をすることで発生状況に応じた青色防犯パトロールカーの運行を実施します。
凶悪事件発生 時の防災行政 無線広報	市・警察・自治組織連合会の三者協定に基づき、重要犯罪発生時には、即時に情報発信を行える体制づくりにより、事案発生時には、迅速な情報発信に努めます。